



学校だより みなみありま



令和2年6月24日(水) 第5号
南島原市立南有馬小学校
文責：校長 永田 佳弘

家族のふれあい



梅雨に入り、田植えが行われています。
「日本の棚田百選」に認定されている
「白木野の谷水棚田」も水が張られて苗がきれいに並んでいて、思わず写真を撮りました。

私も小さい頃、この時季は家の田植えの手伝いをしていました。まだ、機械が無く手植えの時代ですので、家族総出の作業です。田んぼは、「にゅるっ」とした土の感覚が楽しかったのですが、中腰の状態ですと黙々と植えるのは腰が痛かったことを覚えています。雨が降る時には、「田植えを休もう」と家族を説得していたとか。

子どもたちから臨時休業中には、家族で料理をしたことや、農業の手伝いをした話など、家族のふれあいが深まった様子を聞くことができました。貴重な時間を過ごすことができましたね。

1秒でも早く、安全に

最近各地で、震度3、4の地震が発生しています。コロナが終息しない中で大きな地震が発生すると、避難場所での生活は、さらに厳しくなります。

16日(火)に地震の避難訓練を実施しました。津波も想定して南有馬グラウンドへの2次避難も行いました。学校を出発して2次避難完了までの時間は17分20秒でした。車に気をつけながら、さらに短時間で安全な場所に避難できるように話をしました。

この機会に、家庭での避難時のルール、避難場所等についても子どもたちと確認をお願いします。



「菜の花や 月は東に 日は西に」

(与謝蕪村)

3年生が国語で俳句の学習していました。教科書に紹介されていた、有名な春の俳句です。

小学生の俳句も紹介してありました。

「せみの声 遊べ遊べと 聞こえる日」

(山崎早希子)



楽しい夏休みの様子が伝わりますね。

この時季、かえるの鳴き声を聞くと思い出す俳句です。

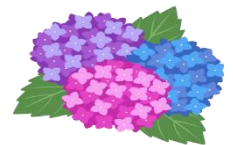
「青梅に 手をかけて寝る 蛙哉(かな)」

(小林一茶)



え、そうだったの？

図書委員会の人たちが給食の時の放送で「子ども新聞ニュース」を伝えてくれています。



「アジサイの大逆転」

梅雨といえばアジサイというぐらい人気ですが、昔は色も地味で、葉の枚数や色が変わることなどからあまり好まれていませんでした。日本原産のアジサイが江戸時代に外国に紹介され品種改良が進み、明治時代に逆輸入されて人気が出てきたそうです。

感染防止のために給食中は、友だちとの会話は控えています。放送を聞く楽しみが増えました。

※裏面に続きます。

相手に届ける

「褒める(ほめる)」という漢字は難しいです。

また、実際に「ほめる行為」も簡単なようで意外と難しいですね。



6年生が「ほめことばのシャワー」という取組をしています。毎日一人役を決めて、その人を学級全員で褒めていきます。褒めるためには相手をしっかりと見て、良さに気づかないといけません。褒められた人の感想が掲示してありました。

○人生でこんなにほめられたことはなかったので、とてもうれしかったです。

○国語は自信ありませんでしたが、みんなから褒めてもらうことで、自信ができました。これからはもっと国語力を高めていこうと思いました。

みんながしっかりと見て伝えることで、友だちの心に届いたようです。また、さらにそれを広げようとしています。

○みんなの良い所をもっと見つけていきたいです。



マラソンの金メダリスト高橋尚子選手を指導した小出監督は、「褒める指導」で有名でした。小出監督の言葉を少し紹介します。



『褒める時には、お世辞で褒めるんじゃなくて、腹の底からそう思って相手の心に響くように褒める。』

やはり、相手の良さ、成長に気づく確かな目が必要ということですね。

いのちのおはなし

教育週間は2学期に延期しましたが、昨日、「大切な命」についての校長講話を行いました。感染防止のために、放送を使って各学級で聞いてもらいました。

日野原重明さんの「いのちのおはなし」という絵本の読み語りをしました。日野原さんは105歳で亡くなるまで、最後まで現役の医師として勤められながら、講演や本などで命について貴重なお話をされていきました。ご存知の方も多いと思います。

今回紹介した本は、95歳のとき4年生の子どもたちに実際に授業をされたときの話です。



内容については、子ども達にお尋ねください。また、原城図書館等にもありますので、ご覧ください。

本のあとがきで次のように伝えられていましたので、一部を紹介します。

○命は誰にでも平等にあります。1日1日の時間の中に命があるのです。その時間をみんなの命として大切にしてほしいのです。

○生きていくうえでもう一つ大事なことがあります。それは心です。お互いに手をさしのべあって、一緒に生きていくということ。心を育てるとはそういうことです。自分以外のことのために、自分の時間をつかおうとすることです。

7月は「長崎県 ココロねっこ運動強調月間」です。この機会に子どもたちと命についていろんな角度から話をしていただければと思います。